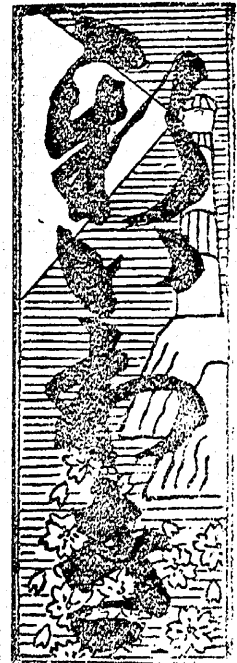


刊夕 日四十月二十



武動の中將を迎ふ 平市民數萬の歓迎

中商業校の閲兵分列と講演 出征遺族に涙の慰問

今次事變に赫々たる武勳を樹て、歸還した武洲中將は今十四日午前九時九分平野署(警越東線)で來平した、將軍を迎ふるこの日の平市は驛前廣場から市公會堂に至る數町の沿道に市民の歡迎陣をつくられて是より先き青沼市長ほか各種團體代表に迎へられた中將は驛前關前に設けられた壇上に立ち

私が歸りましたについてお忙はしいところを斯く多數のお迎ひを受けますことは恐縮に堪えません、また出征された方々の遺家族に對して深く御禮申上げます、戦は今後相當長くかゝるものと思ひます、戦後の皆様に一層の御努力をお願い致します、有難うございまして、と

特別取扱

年賀郵便の 特別取扱

平郵便局では年賀郵便(封書と葉書)特別取扱を例年の如く来る二十日から二十九日まで

流石はポーナス期

飛ぶやうに賣れる 事變國債既に二萬八千余圓 六萬八千圓の割當に

第十三回の支那事變國債は去る十一日から賣出された平局の割當額はポーナス期による戦後の赤誠から一萬圓を追加し尚ほ十圓券八百枚のところへ二百四十枚を減じられたので六萬八千圓、この券別は十圓券(割引七圓)五六〇枚、廿圓(割引十四圓)四〇〇枚、廿五圓(割引二〇圓)五〇〇枚、百圓(割引一〇圓)五百圓、千圓(割引二七圓)二百枚、第一日の消化額一萬五千六百圓、第二日は四千二百圓、第三日は四千八百六十六圓、計二萬八千四百圓を算し此の

好消化

平郵便局では支那事變國債と共に同貯蓄債券を同じく十一日から賣出しているが来る三十一日まで取扱はれる同債券額面十五圓(割引十圓)の割當額一萬五千圓に對しこれ

支那單語

毛澤東をマオツオトン
周恩來のことをチオウ
エンライ、彭德懷のこ
とをフオントイホアイ
と云ふやうに呼ぶので
あるが人の名前を上ぐ
れば限りなく余りくど
くなるから他は略する

また賣出し初日から戦後の赤誠に迎へられ昨十三日まで消化してある

▲十一日一七八枚二六七〇
▲十二日二二三枚三四五〇
▲十三日一〇枚一五〇圓

飯野村農産品評 會の入賞者

石城郡飯野村の農産品評會は地方に於ける蔬菜の主産地だけに優秀なものが出揃へ審査の結果左記の入賞を上げた

- ▲一等(玄米)谷野清吉(白米)澤田富彌(粟)澤田北郷
- ▲二等(葱)伊藤隆(人参)豊孝平、(練馬)加藤勝勝(林菜)柴田波泰 ▲二等(大豆)谷野清吉外十三名 ▲三等(林菜)清水安清外十四名 ▲四等(乾柿)永山嘉工門外二十四名

植田校の一坪農 業品評會受賞者

石城郡植田小學校では上級生に一坪農業を行はせてあるがこの成績品評會を去る十日、十一日の兩日開催、次の入賞者を決した

- ▲一等(練馬大根)高二鈴木信子 (丸大根)高一丹野勳 (白菜)高二川良治 ▲二等高二佐川四郎 高一半井操

高賣り米屋検査

石城郡植田町の米穀商山際理藏(四)は去る十一月中壽司米一升四十四錢を二、三錢高に賣却してゐたので植田署に検査さる

平市公益質屋成績 今月は既に八百圓

だが見込額にはまだぐぐ

平市の公益質屋が十一月十日を越えるか見られてゐるがの閉店で当月成績は八十五件 公益質屋設立の取扱ひ豫想額(二八一點)六百四十八圓の貸は市内六千戸の半數三千戸が出を見たことは既報したが今二十圓づゝの利用と見ても一ヶ月六萬圓ぐらゐると云はれたもので勿論閉店早々ではあるが一ヶ月五千圓の見込み額には遙かに遠く更に一庶民の好利用あることを歓迎してゐる

戦地の便り

笠原 三男

平市杉平出身

物資の統制下に 御厚情の贈り物

笠原 三男

下されたる加藤により生還いたし事件の整理並に戦死者の功績調査等に多忙を極め思ひながら御挨拶状を延引いたしました、御用捨てさい、最早當地も一面白色に包まれ昨今は零下二十五

身命を賭して奮闘

平市中盤出身 矢吹 高松

拜啓、晩秋の候戦後皆々様 貴方九圓公定の鐵屑千八百には永々の御無沙汰愚から御容赦願上候、各位には御壯健にて戦後の為御活躍の事と遠察、感謝感激致し居る次第に御座候、私も皆様の御期待に添ふやう身命を賭して奮闘致し居り候、御一同によろしく願ひ上候

簡易な金融小口資貸付

御利用をお奨め致します

手續きに面倒がなく、利息が安く一口千圓以内三ヶ年返済

信用組合平野庶民金庫内

庶民金庫平代理部

詳細はお問合ひを乞ふ

思ひまゝに

大森 勇

(33)

昨夜空襲されて今朝空襲され二度共何事もなく過ぎたので、いさゝか明らかな気分になつて上甲板に上つた。藤椅子に腰をかけて江上の涼風を懐きながら物憂い音によつて夢が破られた。瞬間的に完全に目が覺めてしまつた。本能的に藤椅子から立上つた。見ると目の前にマストよりも高く水柱

品川坑夫落磐死

石城郡田村品川炭坑坑夫管野大藏(三)は昨十三日午前十時頃同坑内で作業中落磐の下敷となり即死した

古物商物販違反

石城郡泉村の古物商上遠野義雄(三)同直義(三)同田畑秀男(四)三名は共謀で茨城縣久慈町金子正市を手先きに使用し

度に低下いたし益々寒氣猛

ける有様でございますが元氣よく軍務に勵んで居りますから乍他事御休心下さい内地も諸物資の統制時代に相成り御不便多きこと存候、御厚情を頂き御禮申上ぐる言葉なく只々感激致し居ります、今後共何分の御願ひ申上げます、右御挨拶まで、 敬具

品川坑夫落磐死

石城郡田村品川炭坑坑夫管野大藏(三)は昨十三日午前十時頃同坑内で作業中落磐の下敷となり即死した

簡易な金融小口資貸付

御利用をお奨め致します

手續きに面倒がなく、利息が安く一口千圓以内三ヶ年返済

信用組合平野庶民金庫内

庶民金庫平代理部

詳細はお問合ひを乞ふ

思ひまゝに

大森 勇

(33)

昨夜空襲されて今朝空襲され二度共何事もなく過ぎたので、いさゝか明らかな気分になつて上甲板に上つた。藤椅子に腰をかけて江上の涼風を懐きながら物憂い音によつて夢が破られた。瞬間的に完全に目が覺めてしまつた。本能的に藤椅子から立上つた。見ると目の前にマストよりも高く水柱

農業

冷水灌溉田で 一反當四石收穫

(上) 温床育苗行組合の研究の賜も、秋田縣では縣農會の主催で第五十九回種苗交換會農民祭を同縣大曲町小學校に於て十一月十五日から一週間に亘り開催されたが、同會に於ける談話會の本年の作況体験談の發表で同縣仙北郡濱水村の稲苗温床育苗行組合第二研究地の發表は冷害恐るゝに足らずと今後の東北地方の稲作改良上多大の感銘を與へ、しかも同村の冷水湧出地帯の農家が集團苗代の經營によつて一反歩當り四石以上の驚異的な收穫をあげてゐる實績には縣農會の幹部をはじめ各郡市農商技術者、篤農家及び臨席の農林省農事試験場奥羽試験地附家所長、川俣技師等の絶讃を浴びた、この清水村は七百六十町歩の水田の中で約二百町歩は冷水灌溉のため毎年一反歩當り僅かは一石六斗の收穫しか見られないので先づ土地即應の栽培改良による増産に着眼して昭和十年水稲温床育苗行組合を組織して研究工作を奨め翌十一年から増收の實をあげて四年目に當り本年四年は遂に最高一反歩當りの收歩四石四斗四升を實現し愈々自信を得たる同組合では明年度は必ず五石を收穫して見せると非常な意氣をもつて精進をつけてゐる、

この温床育苗の方法は四月上旬に四合乃至五合を播種し五月の初旬には入つて假植えの上六月早々間引きを行

スペイン GHN 元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒
御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
(平二) 西村屋薬舗 (電三)

「貯蓄は無盡で」
三行圓
無盡城啓

助腹・氣管支・關節・神經痛・肺炎・ロイマチス
……扁桃腺・中耳炎・骨膜炎・腰痛・痔瘡……
新薬 生公華
……濕布で名薬……
山野邊藥局

内科、小兒科、外科、花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科
平市町 電話五二三番
高久病院
院長 醫學士 高久忠

秋より冬にかけて 婦人洋品 ショールと防寒具
可愛い子供さんのお帽子とお洋服
豊富陳列して御座います
ツルヤ 4ツルヤ 平電140

附屬産院 新設
妊産婦入院隨意
婦人科 木村病院
電話 平市 新川町 一六四番

便利で 経済な 日下家政婦會の
派出婦を御利用下さい
身元確かで品行方正ですから
何を任せしてもご安心です
平市白銀町十番地 (電話七二三番)
日下家政婦會
會長 日下すい子

高久病院
良品廉價
手塚美容院

債券、公債 多田井質店
平市大工町 電話五九二番
御婚禮着付 和洋結髪 パーマネント・ウエーブ
貸衣裳、貸かつらを御利用下さい
手塚美容院 平市新田町

平病院 (平市元共済病院跡) 電話六四一番
院長 醫學博士 鈴木定藏
副院長 長 鈴木定藏
副院長 長 土井利明
副院長 長 高橋俊幸
副院長 長 鈴木定藏
副院長 長 吉本孝平
診療科 内科、小兒科、外科、皮膚泌尿器科、物理療法科、薬剤科
時間 夜間診察に依り(急患は此の限り)

電話五九二番
レストラン サロ
平市銀座街

帝都演藝豪華名流家來
浪曲界の藝家 廣澤虎若
講談會の名人 神田伯龍
天才少女浪曲横綱 鈴木照子嬢
ブルースのクイン 丸山和歌子
昭和十二年十一月十九日公會堂に於て
十四年十一月十九日公會堂に於て
後援 磐城通信社 平市役所